

宇和島市津島町岩松(愛媛県)

(1) 保存地区の概要

地区名	宇和島市津島町岩松
種別	在郷町
面積	約10.6ヘクタール
選定年月日	平成18年7月5日
特徴	愛媛県南予地方のリアス海岸にそそぐ岩松川河口域に位置し、農村から周囲の集落の物資集散地への変容とともに町並みが形成され、江戸後期から近代にかけて商業を基軸に発展した。江戸末期から昭和40年代にかけて建てられた町家は二階全体を座敷として接客空間を設ける。狭い敷地に建てられた伝統的建造物や水路を構成する石垣等が、河川及び周囲の急峻な山林と一体となって歴史的風致を良く伝えている。



(2) 保存地区のあゆみ

慶応2年頃(1866)	岩松川の川筋の付替が行われる
昭和20年(1945)	獅子文六が岩松に疎開。「てんやわんや」執筆
昭和25年(1950)	映画「てんやわんや」を岩松でロケ・公開
平成13年度(2001)	西村酒造場酒蔵の保存を検討開始
平成16～18年度(2004～2006)	伝統的建造物群保存対策調査を実施
平成17年度(2005)	宇和島市と北宇和郡吉田町・三間町・津島町が合併し、宇和島市となる
平成18年度(2006)	津島町岩松保存対策調査報告書刊行
平成29年度(2017)	宇和島市伝統的建造物群保存地区保存条例制定 住民組織「岩松守ろう会」発足
令和元年度(2019)	ワールド・モノメント財団(WMF)選定のワールド・モノメント・ウォッチ2020に「津島町岩松の町並み」が選ばれる。
令和2年度(2020)	岩松守ろう会を特定非営利活動法人(NPO法人)に改組。
令和2・3年度(2020～2021)	NPO法人岩松守ろう会がWMF及びフリーマン財団の支援で小西本家離れを改修
令和4・5年度(2022～2023)	NPO法人岩松守ろう会がWMF及びフリーマン財団の支援で小西本家蔵を改修
令和5年(2023)	重要伝統的建造物群保存地区に選定

(3) 保存地区の保存と整備

・ 修理修景補助事業

平成29年度から令和5年度まで市単独予算の修理修景補助事業を27件実施。雨漏り修繕・外壁塗装などを中心に実施したが、修景効果のある建具交換などを実施した際には、地区住民からの意見でも通り景観が良くなることでの町並み保存意識の向上につながった実感があった。

重伝建選定を受けて令和6年度からは新たな補助の枠組みで町並み保存事業を進めていくこととしている。また、修理修景ガイドラインについても整備を進める。



修景前



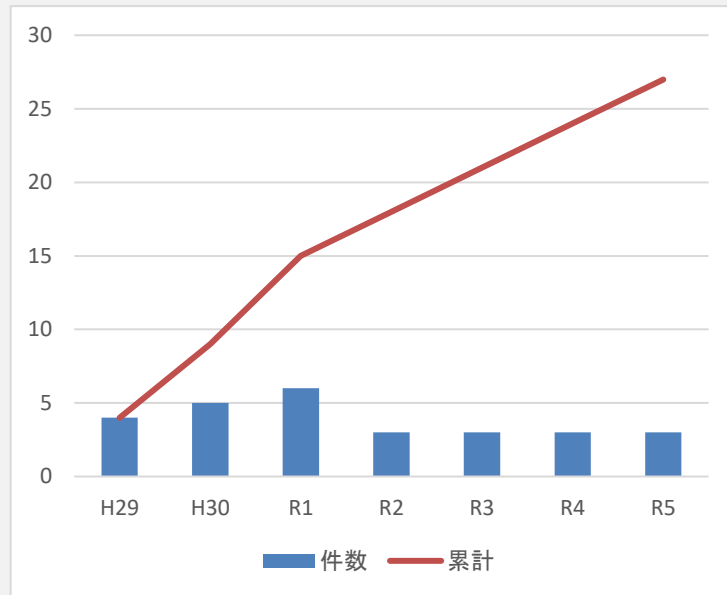
修景後

・ 選定後の事業

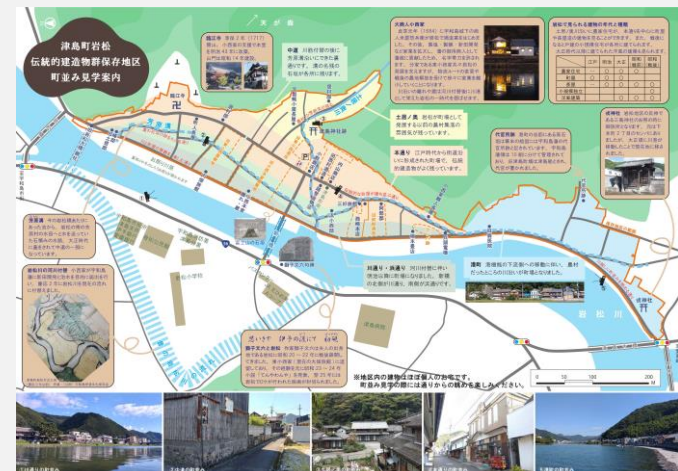
- 町並み案内地図作成
- 伝統的建造物表示プレート設置
- 案内板整備
- 地域防災計画策定
- 防災施設整備
- 空き家対策



「松」の形のプレート



選定前の修理修景補助事業件数



町並み案内地図

(4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・ 選定後の地区来訪者の増加、マスコミ等の注目度の向上
- ・ 近隣学校(小中高)の地域学習において町並み保存を取り上げ、子どもたちのシビックプライド向上をはかる
- ・ ワールド・モニュメント財団、フリーマン財団の支援による小西本家離れ・蔵の整備
- ・ 令和6～8年度に宇和島市文化財保存活用地域計画を策定し重伝建地区の活用方針を決定する。

学校における町並み学習の成果発表事例



第6回うわじま学校自慢CM大賞(岩松小学校)



岩松小学校

重伝建選定を題材に
動画作成



宇和島東高校津島分校
小西本家蔵お披露目会
における学習発表

(5) 住民等の取組

- ・ NPO法人岩松守ろう会

地域の歴史的資源を生かしたまちづくりに関する活動を目的に設立。ワールド・モニュメント財団と連携し、小西本家・離れの改修事業を進めた。

- ・ 企業組合いわまつ

平成19年より岩松地区内有志が町おこしツールとしてどぶろくを造りを行っている。近年は生甘酒が好評。ふるさと納税の返礼品となっており、重伝建選定までの岩松地区のPRに大きな効果があった。

- ・ NPO harmoni～ハルモニ～

地区内の旧阿部酒造などの古民家を活用して、交流イベントなどの企画・運営を行っている。

これまで、クリスマス・ひな祭りイベントなどを開催。

などが活動



企業組合いわまつ

どぶろく「なっそ」と生甘酒



「古民家おひなまつり」で
飾られた小西本家蔵